

概要

神戸新聞社が2003年から取り組んでいる子育て支援プロジェクトが「すきっぷ21 - みんなの子育て」です。子育てに夢を持ち、みんなで支えあう地域社会を目指して、紙面とウェブサイトによる情報提供のほか、各地で多彩なイベントや啓発事業を展開しています。

プロジェクトの一環として2006年から毎月原則12日を「育(いく=1)児(じ=2)の日」と定め、兵庫県内の幼稚園や子育てサークルなどを対象に、親子参加の地域イベント「すきっぷサロン」を開催しています。伝承玩具づくりや野遊び体験教室などを各地に“出前”し、楽しいひとときを提供します。講座内容は6種類から選択でき、専任の講師がプログラムを実施します(協賛=和田興産)。

企画が生まれた背景や意図・ねらい

このプロジェクトでは地域住民や民間企業、公共団体などと連携しながら、子育て真っ最中の父母をサポートし、子育てしやすい地域づくりへ向けた事業を実施しています。核家族化が進み、身近に頼れる存在もないまま「孤立した育児」に悩む親が少なくない中で、「みんなが手を携えて子どもを支える」という意識の広がり不可欠と考え、2003年に創刊105周年を迎えた神戸新聞社の新たな百年事業として、全社を挙げた息の長い取り組みを展開中です。



「すきっぷ21」プロジェクトのロゴマーク

反響

「すきっぷサロン」の参加者(保護者)からは、専任の講師によるプログラムに参加することで、子どもの普段とは異なる表情や姿を見ることができ、楽しい親子の時間を過ごせたとの感想が多く寄せられています。また申込者(児童館や子育てサークル)などからは、身近なものを使った新しい遊び方や子どもとのふれあい方、普段実施できないダイナミックな実験など、貴重な体験ができたとの声があり、再び申し込まれるケースも多々あります。

伝承玩具づくりや野遊び体験

出前講座の実施団体募集

毎月12日の「育児の日」に、伝承玩具づくりや野遊び体験教室など、希望の講座を“出前、する親子向け地域イベント「すきっぷサロン」の実施グループを募集します。

対象は、兵庫県内の幼稚園、保育園、学童保育、子育てサークルなどで、幼児から小学生までの親子が10~100組程度参加できるグループ。今回の募集は、12月12日実施分です。

伝承玩具づくり(日本玩具博物館館長・井上重義さん)▽野遊び体験教室(森林インストラクター・山崎春人さん)▽科学実験&おもちゃづくり(父親サポート関西)▽折り紙教室(サークル紙ふうせん)▽ふれあい遊び&うた遊び(子育て支援ネットワークあい)の中から希望の講座を選べます。

講師料は無料ですが、講師の交通費と講座によっては材料費が必要です。

申し込みは神戸新聞社 地域活動局 ☎078・362・7086 (平日9時半~17時半)。実施要項と申込書をファクスします。

主催 神戸新聞社
協賛 和田興産

出前講座「すきっぷサロン」の実施団体を募集する社告(神戸新聞2013年8月26日付朝刊)



「すきっぷサロン」での親子マリンバコンサートの様子

息の長い取り組みに「育児の日」